

次期ごみ処理施設を取り巻く情勢

第1回四国中央市ごみ処理施設整備検討委員会
令和5年6月30日

目次

(1) 四国中央市のごみ処理の情勢



焼却施設



リサイクルプラザ

(1) 四国中央市のごみ処理の情勢

■ごみ処理施設の老朽化

焼却施設

- ・平成12年3月に竣工し23年経過
- ・令和4年度から3ヶ年で延命化
- ・令和14年度末まで使用予定

リサイクルプラザ

- ・平成9年3月に竣工し26年経過
- ・毎年度修繕を継続して実施
- ・施設更新は次期可燃ごみ処理施設検討結果を受けて検討（焼却施設の跡地利用も含めて検討）

(1) 四国中央市のごみ処理の情勢

■ 本市計画での次期ごみ処理施設の位置付け

計画の名称	記載概要
第三次四国中央市総合計画 (令和5年4月)	近隣市との合同によるごみ処理施設の集約化や、ごみを燃やさず資源化できる方策の検討など、安定的かつ持続的な廃棄物処理体制の構築に向けて取り組みます。
第二次四国中央市環境基本計画 (平成29年3月)	四国中央市クリーンセンターにおいて、引き続き安全で衛生的なごみ処理を進めるとともに、施設の適正な維持管理に努めます。
地球温暖化対策実行計画（区域施策編） (令和5年3月)	次期ごみ処理施設は、新居浜市・西条市との広域処理と併せて、四国中央市単独での燃料化処理方式による処理方式の検討を行います。
一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 (令和5年3月)	四国中央市クリーンセンター（ごみ焼却施設）は令和14年末を供用計画としており、四国中央市クリーンセンター（ごみ焼却施設）に代わる次期ごみ処理施設については、新居浜市・西条市との広域処理に併せて単独での燃料化による処理方式の検討を行う。

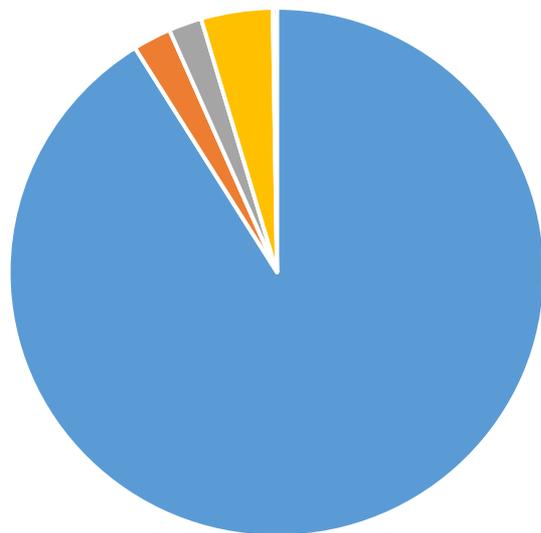
**本市は四国中央市クリーンセンターに代わるごみ焼却施設を
広域での焼却処理又は単独での燃料化処理方式で検討する。**

(1) 四国中央市のごみ処理の情勢

■本市の産業と温室効果ガス

本市は主要産業である紙産業に支えられ共に発展
紙産業は、製造工程で多くの熱を必要とし、
化石燃料の使用 = 温室効果ガスの排出が多い産業
愛媛県の温室効果ガス排出の約26%が本市

2019年度 四国中央市温室効果ガス排出量 (kt-CO2)



排出部門	排出量 kt-co2	割合%
産業部門	4114.9	91.11
業務部門	104.4	2.31
家庭部門	90.5	2.00
運輸部門	195.0	4.31
廃棄物分野	11.3	0.25
計	4516.0	

産業部門の約95%は
紙産業による排出

本市のカーボンニュートラルは紙産業との連携が必須

(1) 四国中央市のごみ処理の情勢

■環境に配慮したごみ処理

- ・ 眞鍋淑郎博士がノーベル物理学賞を受賞
- ・ 四国中央市地球温暖化対策
実行計画（区域施策編）策定
- ・ 2050年カーボンニュートラルの達成目標
- ・ 四国中央市カーボンニュートラル協議会の設立



(1) 四国中央市のごみ処理の情勢

可燃ごみの処理は、
単に焼却処分するのではなく、

様々な関係機関と連携し、
環境に配慮した処理方法

を導入することが市としての責務